

「eLinks®」環境マーク 運用ガイドライン

本ガイドラインは、環境対応型インキ「eLinks®」の図形商標である環境マークを、一貫性をもって正しく使用し、そのブランド価値を保持することを目的とします。

1. ロゴの基本形と構造

「eLinks®」の環境マークは、図形タイプとロゴタイプ(eLinks®)を組み合わせた形を基本とします。

要素	説明	参照画像
図形タイプ	環境への配慮を若葉で表し、継続性とインキの流れを象徴する無限ループを図形化。	
ロゴタイプ	登録商標を示す「eLinks®」の文字。	

2. サイズ規定と使用範囲


ロゴの使用サイズは、視認性と商標マーク(®)の判読性を最優先に規定します。

規定	寸法	補足
標準サイズ	図形・文字各タイプ 高さ:15mm	最も推奨されるサイズです。
最小サイズ	図形タイプ高さ: 8mm ロゴタイプ高さ: 指定なし(条件あり)	(条件)®マークが明確に識別できる最小のサイズです。これより小さくすることはできません。
その他のサイズ	上記範囲外	販売元のアイنز株式会社に相談が必要です。

3. アイソレーションエリア(不可侵領域)

ロゴの視認性を確保するため、周囲の要素から一定の空白を設けます。

- **基準寸法(A)**: ロゴタイプの高さの 1/2 とします。
- **確保領域**: ロゴの周囲(上下左右)に、基準寸法 A 以上のスペースを確保してください。この領域内には、他のデザイン要素を配置してはなりません。

規定図	説明
	上下左右 指定領域を確保: ロゴタイプ高さの 1/2 以上の空白 を維持します。

4. カラー規定

「eLinks®」環境マークは、環境対応を表現する指定色を使用します。媒体に応じて「フルカラー版」または「モノクロ版」のいずれかを選択してください。

4.1. フルカラー版(推奨)

要素	規定	規定値
図形タイプ	グラデーション	ライムグリーン(始点):C25 M5 Y92 K0 濃いグリーン(終点):C82 M27 Y100 K0
ロゴタイプ	標準	CMYK: C0 M0 Y0 K100

4.2. モノクロ版

色を使用できない媒体や、視認性を高める必要がある場合に使用します。

種類	規定値	使用条件
黒1色	全ての要素を K100% (CMYK: C0 M0 Y0 K100)で表現します。	白や淡色の背景の上で使用します。
白抜き	全ての要素を 白抜き (CMYK: C0 M0 Y0 K0)で表現します。	濃色や黒の背景の上で使用します。

5. 禁止事項(マークの誤用)

ブランドの統一性と商標権保護のため、以下の使用方法是固く禁止します。

1. 変形・改変:

- 縦横比を変える、回転させる、特殊効果(影、縁取りなど)を加えること。
- シンボルマークとロゴタイプの規定された配置を変えること。

2. 要素の分離:

- シンボルマークとロゴタイプを切り離して単独で使用する事。

3. 色彩の変更:

- 規定色以外の色を使用したり、グラデーションを独自に変更したりすること。

4. その他:

- アイソレーションエリア(余白)を侵すこと。
- 最小サイズ(余白を除く高さ 8mm)未満で使用する事。

6. 著作権・商標権

- この環境マークは、図形商標として登録済みです。
- ロゴタイプには必ず「®」マークを付記し、登録商標であることを明示してください。
- 本ガイドラインに反する使用、または使用範囲外での使用は、販売元のアインズ(株)の権利を侵害する可能性があります。

7. 環境マーク付記時の表現ガイドライン

環境マークを使用する際、製品や印刷物に対して「eLinks®」インキの環境対応性を具体的に訴求するための表現を規定します。

7.1. 基本的な表示方法(例)

環境マーク(ロゴ)を使用する際は、可能な限りマークの近くに、以下のいずれかの文言を併記し、マークが指す対象(インキ)と環境対応の性質を明確にしてください。

用途	推奨される表現	補足事項
製品・資材	「このインキは、環境対応型インキ eLinks®を使用しています。」 「環境対応型インキ eLinks®使用」	➡最も推奨される表現です。商標マーク「®」を含めてください。 ➡スペースが限られる場合。
広告・PR	「eLinks®」は、石油系溶剤・樹脂ゼロを実現した新発想の環境対応インキです。	➡短い言葉で明確な差別化を伝えたい場合。
Web・詳細	「このインキは、約 77%の植物油(非食用油)で構成された前例のない環境対応型インキ eLinks®を使用しています。」	➡達成した開発目標を具体的に追記したい場合。

7.2. 「eLinks®」の環境優位性の説明例

上記の基本表現に加え、必要に応じて以下の要素を追記し、具体的な環境優位性を訴求することを推奨します。

1. 「このインキ eLinks®は、約 77%が植物由来成分で構成されており、環境負荷の低減に貢献する環境対応型インキです。」
2. 「このインキ eLinks®は、合成樹脂と鉱物油を一切含まないため、VOC(揮発性有機化合物)の排出削減に大きく貢献します。」
3. 「このインキ eLinks®は、石油由来の溶剤やプラスチック原料の合成樹脂を一切含まない、環境に配慮したインキです。」
4. 「このインキ eLinks®は、環境への配慮を維持しながら、印刷の安定性を格段に向上させたインキです。」

7.3. 禁止される表現

誤解や事実誤認を招く表現、および事実と異なる行き過ぎた環境への配慮をアピールする表現を避けるため、以下の表現は厳禁です。

① 過剰な優位性を示す表現:

根拠(調査範囲、調査機関、調査時期など)を明確に特定できない、または確認されていないにもかかわらず、「世界初」「業界初」「史上最強」といった断定的な過剰表現を行うこと。

② 断定的な「エコ」「地球にやさしい」のみの表現:

具体的な説明や根拠を示さずに、単に「エコ製品」や「地球にやさしい製品」と表記すること。

③ インキ以外の要素への誤認:

製品全体が環境対応であると誤認させるような表現。

例: 「eLinks[®]インキを使用した環境配慮型パッケージ」など、インキ以外の環境要素についても正確に記述すること。